

大阪府域における温室効果ガス排出実態について

大阪府域における2022年度の温室効果ガス排出量の分析について

～温室効果ガス排出量の推移～

- ・2022年度の排出量は4,528万t-CO₂ 基準年度である2013年度から19.4%減少（図1）
- ・部門別でみると、業務部門の割合が高い（図2）

【参考】2030年度CO₂削減目標：2013年度比40%削減
 2030年度の管理指標値：電気の排出係数0.33 kg-CO₂/kwh

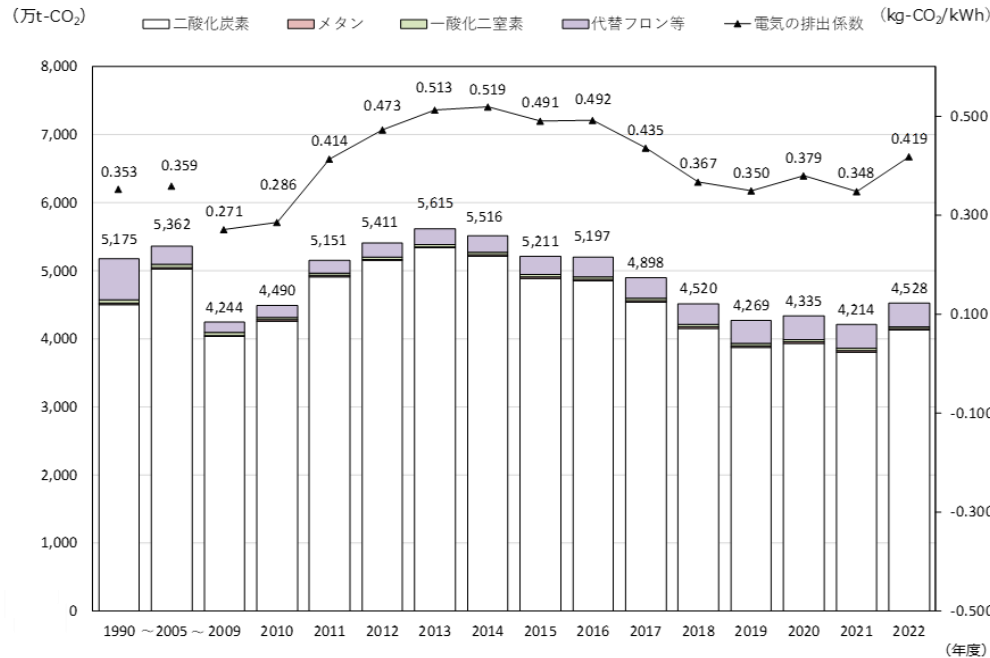


図1 大阪府域における電気の排出係数および温室効果ガス排出量の推移



図2 部門別温室効果ガス排出量の基準年度（2013年度）との比較

大阪府域における2022年度の温室効果ガス排出量の分析について ～エネルギー消費量の推移～

- ・2022年度の排出量は497PJ 基準年度である2013年度から13.8%減少（図3）
- ・部門別でみると、産業部門の割合が高い

【参考】2030年度の管理指標値：438PJ

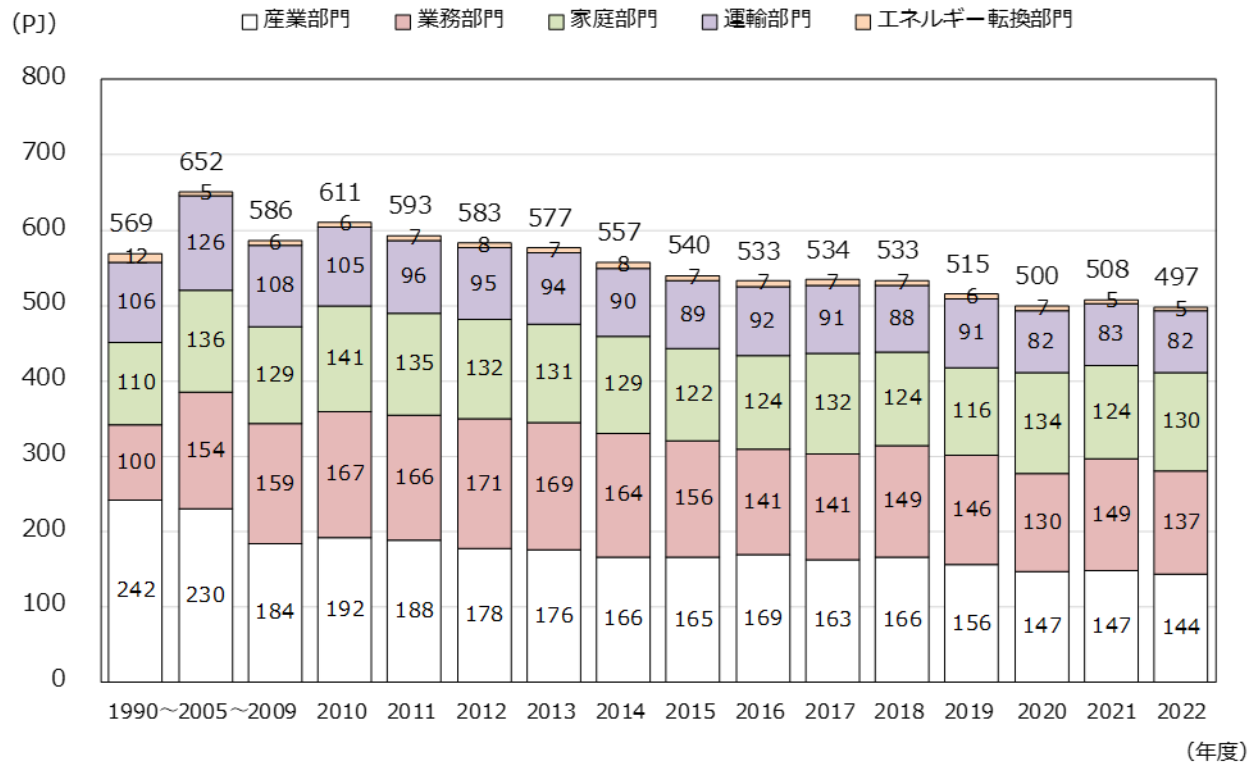


図3 大阪府域における部門別エネルギー消費量の推移

～産業部門における温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量～

- ・2022年度の排出量は1,021万t-CO₂ 基準年度である2013年度から26.2%減少（表1）
- ・2022年度のエネルギー消費量は144PJ 2013年度から18.5%減少
- ・エネルギー消費量の燃料種別では電力、都市ガスは減少傾向（図4）

表1 産業部門における
CO₂排出量およびエネルギー消費量の推移

	2013 年度 (基準)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2013年度比 増減率	前年度比 増減率
二酸化炭素排出量 (万t-CO ₂)	1,384	1,024	986	1,021	-26.2%	3.5%
エネルギー消費量 (PJ)	176	147	147	144	-18.5%	-2.7%

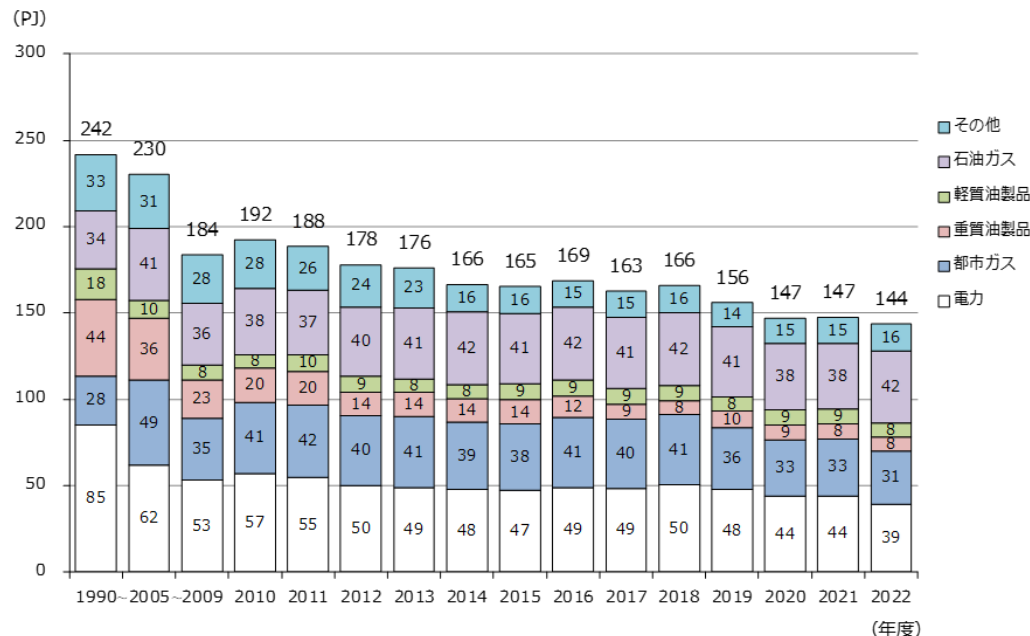


図4 産業部門における
燃料種別エネルギー消費量の推移

～業務部門における温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量～

- ・2022年度の排出量は1,251万t-CO₂ 基準年度である2013年度から27.4%減少（表2）
- ・2022年度のエネルギー消費量は137PJ 2013年度から18.5%減少
- ・エネルギー消費量の燃料種別では電力、都市ガスは2013年度から変化なし（図5）

表2 業務部門における
CO₂排出量およびエネルギー消費量の推移

	2013 年度 (基準)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2013年度比 増減率	前年度比 増減率
二酸化炭素排出量 (万t-CO ₂)	1,724	1,098	1,176	1,251	-27.4%	6.4%
エネルギー消費量 (PJ)	169	130	149	137	-18.5%	-7.7%

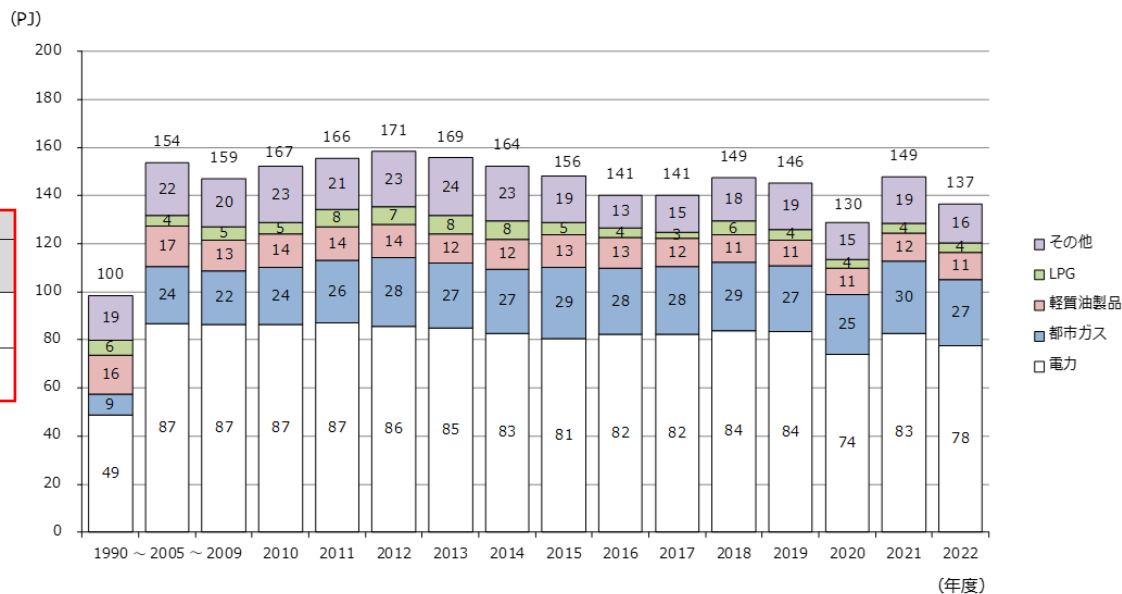


図5 業務部門における
燃料種別エネルギー消費量の推移

～家庭部門における温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量～

- ・2022年度の排出量は1,121万t-CO₂ 基準年度である2013年度から14.8%減少（表3）
- ・2022年度のエネルギー消費量は130PJ 2013年度から1.1%減少
- ・エネルギー消費量の燃料種別では電力、都市ガスは2013年度から変化なし（図6）

表3 家庭部門における
CO₂排出量およびエネルギー消費量の推移

	2013 年度 (基準)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2013年度比 増減率	前年度比 増減率
二酸化炭素排出量 (万t-CO ₂)	1,316	1,065	914	1,121	-14.8%	22.7%
エネルギー消費量 (PJ)	131	134	124	130	-1.1%	4.9%

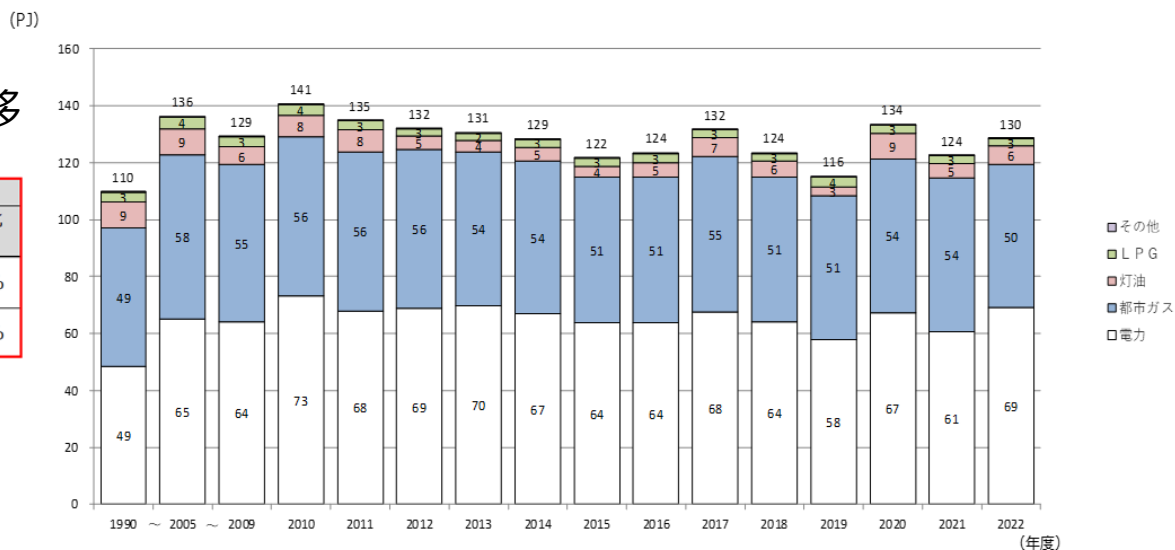


図6 家庭部門における
燃料種別エネルギー消費量の推移

～運輸部門における温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量～

- ・2022年度の排出量は582万t-CO₂ 基準年度である2013年度から15.4%減少（表4）
- ・2022年度のエネルギー消費量は82PJ 2013年度から12.8%減少
- ・自動車によるエネルギー消費量は長期的に見て減少傾向
- ・鉄道によるエネルギー消費量は2013年度から横ばい（図7）

表4 運輸部門における
CO₂排出量およびエネルギー消費量の推移

	2013 年度 (基準)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2013年度比 増減率	前年度比 増減率
二酸化炭素排出量 (万t-CO ₂)	688	578	575	582	-15.4%	1.2%
エネルギー消費量 (PJ)	94	82	83	82	-12.8%	-1.2%

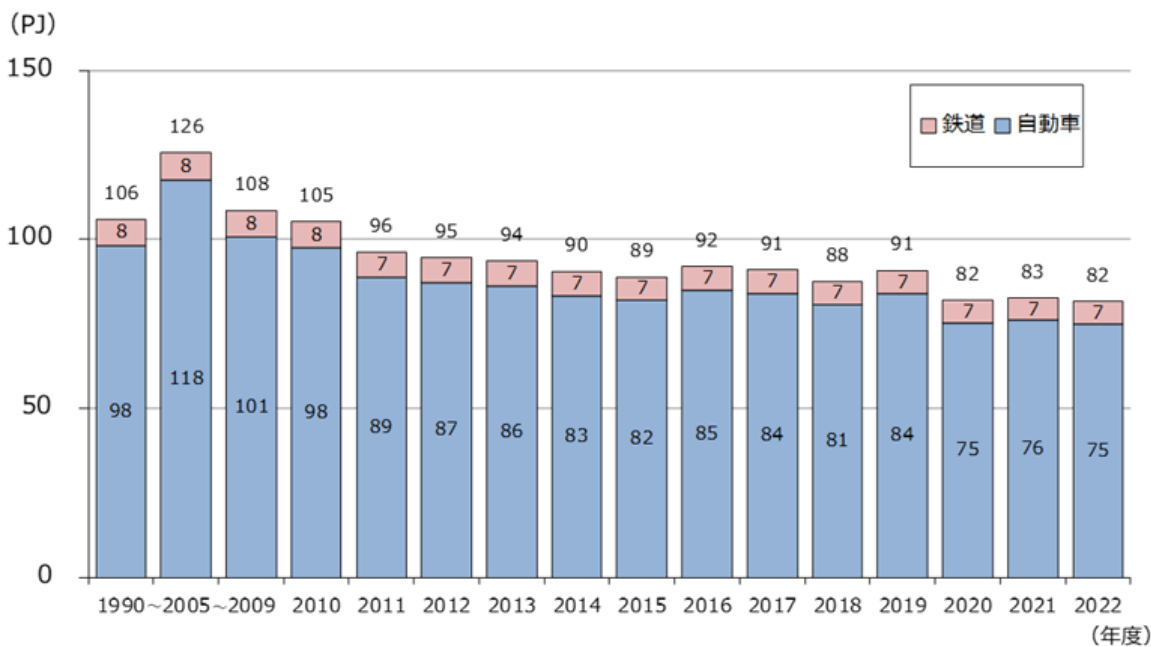


図7 運輸部門における
燃料種別エネルギー消費量の推移

～廃棄物部門における温室効果ガス排出量～

- ・2022年度の排出量は131万t-CO₂ 基準年度である2013年度から28.2%減少（表5）
- ・廃棄物部門におけるCO₂排出量は長期的に見て減少傾向（図8）

表5 運輸部門におけるCO₂排出量の推移

	2013 年度 (基準)	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2013年度比 増減率	前年度比 増減率
二酸化炭素排出量 (万t-CO ₂)	182	132	127	131	-28.2%	2.8%

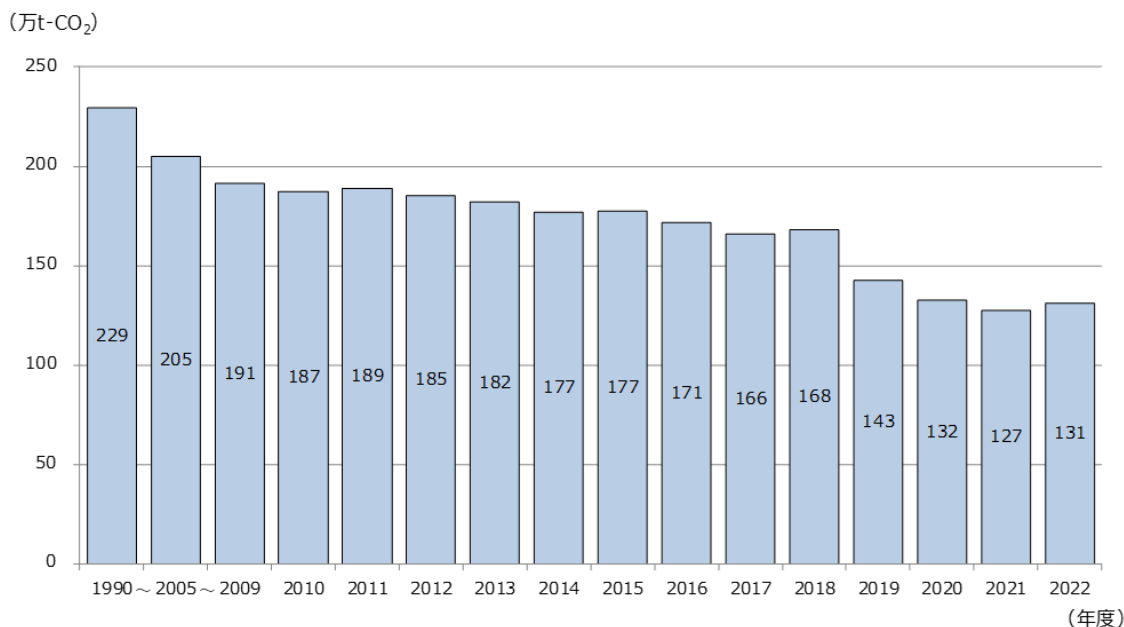
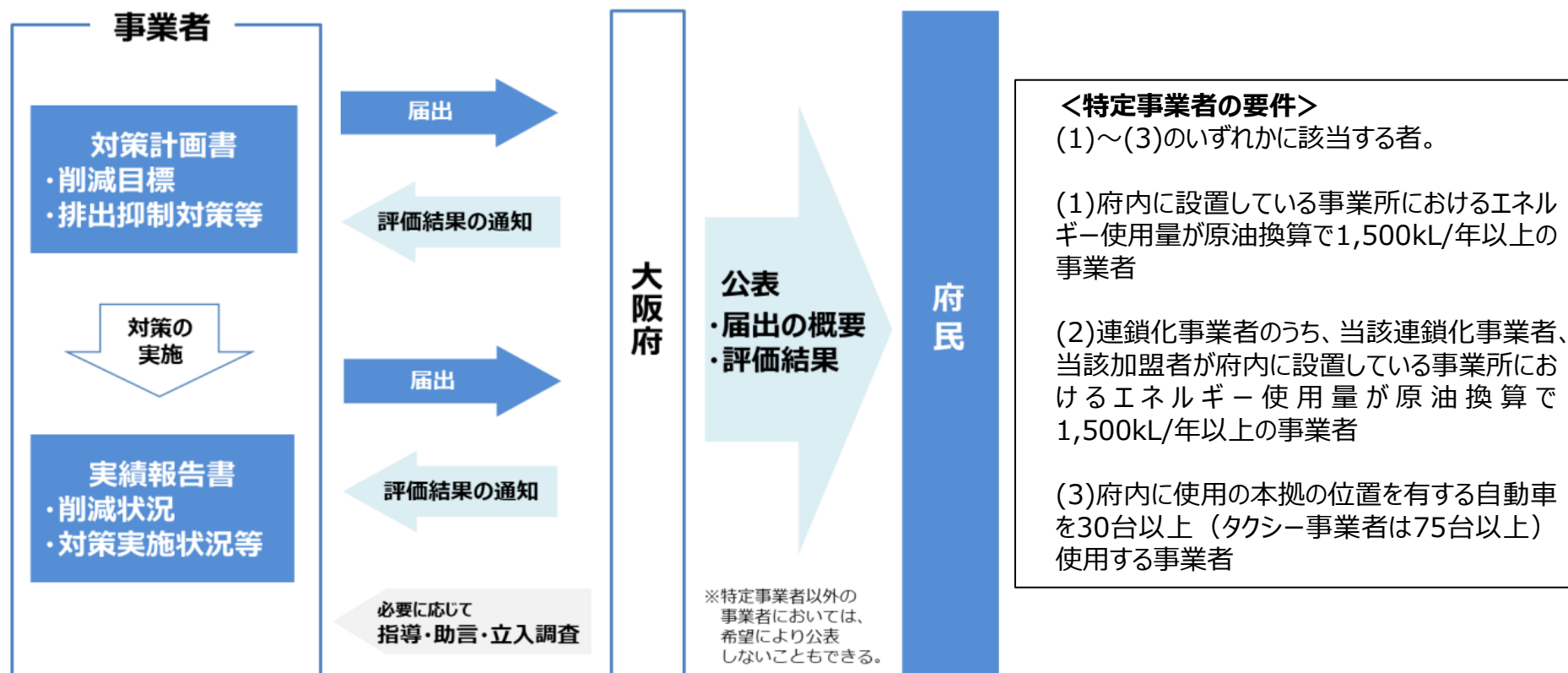


図8 廃棄物部門におけるCO₂排出量の推移

大阪府気候変動対策条例の特定事業者における排出実態

特定事業者(エネルギー多量使用事業者)に対する届出制度

- ・本届出制度は、大阪府気候変動対策の推進に関する条例に基づき、対策計画書や実績報告書の届出、府による概要の公表などにより、気候変動の緩和・適応、電気の需要の最適化のための対策を推進すすめていくもの。
- ・エネルギーを多量に使用する事業者（特定事業者）に対して、届出を義務付けている。
- ・なお、特定事業者以外の事業者についても、任意で提出可能としている。



特定事業者における排出実態・目標

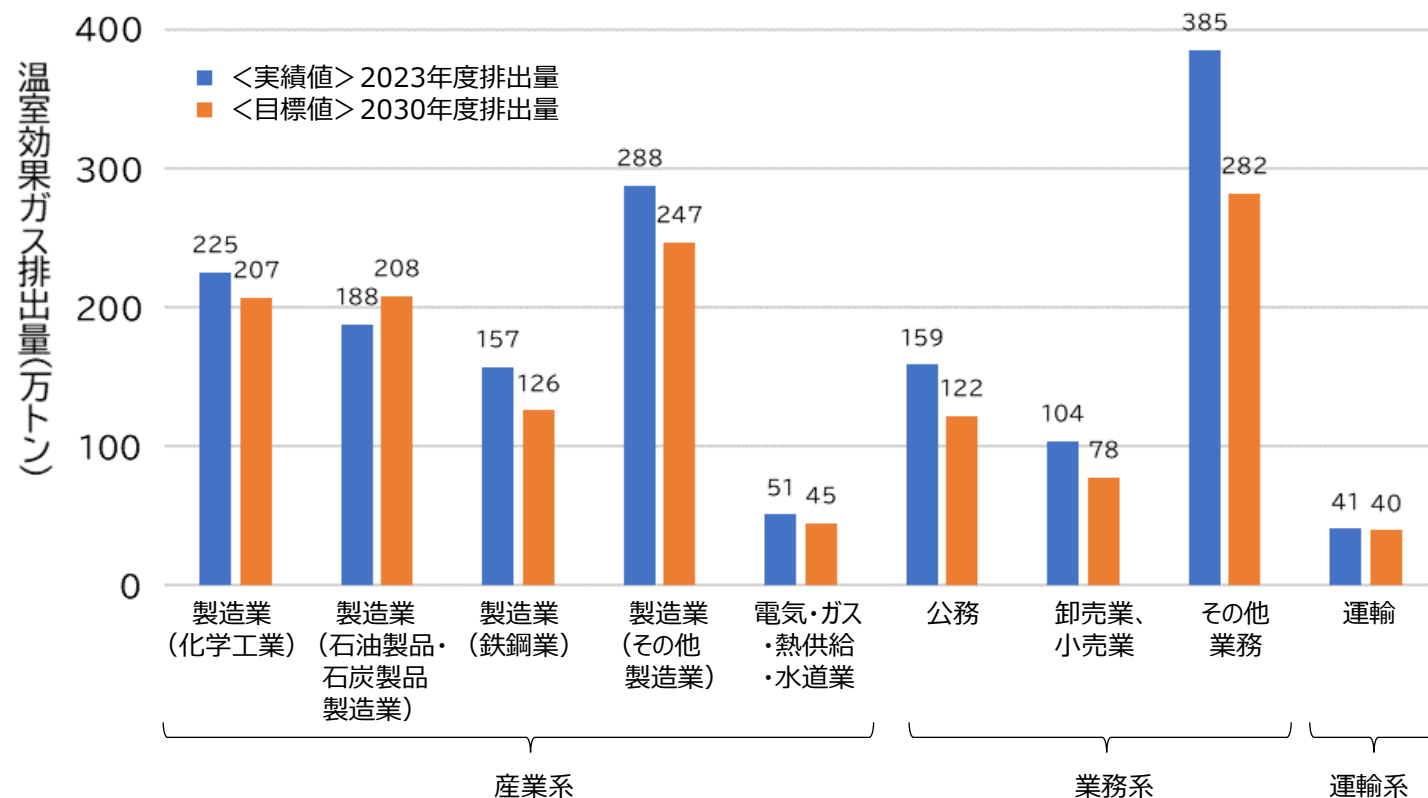
・特定事業者（968者）における排出量

＜実績値＞ 2023年度排出量 1,598万トン（産業系57%、業務系40%、運輸系3%）

＜目標値＞ 2030年度排出量 1,354万トン（産業系62%、業務系35%、運輸系3%）

※目標値については、基準年度から年率1.5%削減を目安に設定。

・製造業（石油製品・石炭製品製造業）は、2023年度時点で2030年度目標を達成している。



(参考) 基準年度を2013年度としている特定事業者について

・特定事業者（産業系＋業務系426者、運輸系103者）における排出量

＜実績値＞ 2013年度排出量 1,617万トン

＜実績値＞ 2023年度排出量 1,192万トン

＜目標値＞ 2030年度排出量 1,058万トン

基準年度比削減率26%
(削減目安は10.0%)

